

別記様式第1の2（第7条関係）

令和4年度上期放射線管理等報告書

2022年11月10日

原子力規制委員会 殿

住 所 茨城県東茨城郡大洗町成田町 2163 番地

氏 名 日本核燃料開発株式会社

代表取締役社長 濱田 昌彦

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び核燃料物質の使用等に関する規則第7条第1項の規定により次のとおり報告します。

工場又は事業所	名 称	日本核燃料開発株式会社
	所 在 地	茨城県東茨城郡大洗町成田町 2163 番地

1 放射性廃棄物の廃棄の状況

(1) 気体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の放出量及び濃度（注1）

① 放射性物質の種類別の年間放出量

（単位：Bq）

種 類					
測定の箇所等					
排気口又は排気監視設備					
合 計					
年間放出管理目標値					

② 放射性物質の濃度の3月間についての平均値及び最高値

（単位：Bq/cm³）

濃 度		前半の3月間（4月～6月）		後半の3月間（7月～9月）	
		平 均 値	最高値*（注2）	平 均 値	最高値*（注2）
排気口又は排気監視設備	ホットラボ排気スタック（ ⁸⁵ Kr）	ND	ND	ND	ND
	ホットラボ排気スタック（ ¹³¹ I）	ND	ND	ND	ND

*月毎の中で最高値を記載

「放射性物質の濃度」の検出限界値

希ガス（⁸⁵Kr） $6.7 \times 10^{-5} \sim 1.0 \times 10^{-4}$ (Bq/cm³)

放射性ヨウ素（¹³¹I） $1.7 \times 10^{-9} \sim 1.2 \times 10^{-8}$ (Bq/cm³)

（検出限界値はバックグラウンドの影響を受けその値は上記のように幅をもつ）

(2) 液体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の放出量及び濃度（注1）

① 放射性物質の種類別の年間放出量

（単位：Bq）

測定の箇所等		種 類			
排水口又は排水監視設備		弊社では、液体廃棄物の排出はなく、全て日本原子力研究開発機構大洗研究所で委託処理している。			
合 計					
年間放出管理目標値					

② 放射性物質の濃度の3月間についての平均値及び最高値

（単位：Bq/cm³）

測定の箇所		濃 度		前半の3月間（月～月）		後半の3月間（月～月）	
		平 均 値	最 高 値 (注2)	平 均 値	最 高 値 (注2)		
排水口又は排水監視設備		弊社では、液体廃棄物の排出はなく、全て日本原子力研究開発機構大洗研究所で委託処理している。					

(3) 液体状の放射性廃棄物の保管量等（注3）

（単位：m³）

施設の名称	ホットラボ施設*1			ウラン燃料 研究棟*2	施設合計		
	放射性廃棄物の種類 量	中レベル $\beta\gamma$ ： 37～ <37kBq/cm ³ α ： <0.01Bq/cm ³	低レベル $\beta\gamma$ ： 0.37～ <37Bq/cm ³ α ： <0.01 Bq/cm ³	極低レベル $\beta\gamma$ ： <0.37Bq/cm ³ α ： <0.01 Bq/cm ³	極低レベル $\beta\gamma$ ： <0.37Bq/cm ³ α ： <0.01 Bq/cm ³	ホット ラボ 施設	ウラン 燃料 研究 棟
前年度末保管量							
当該年度の発生量							
当該年度の減少量							
施設内減量							
施設外減量							
当該年度末保管量							
保管設備容量							

*1：政令41条該当施設

*2：政令41条非該当施設

(4) 固体状の放射性廃棄物の保管量等 (注4)

(単位：本)

施設の名称	*1 ホットラボ棟		*1 低レベル廃棄物 保管庫		*2 研究棟 ウラン燃料		*2 低レベル廃棄物 保管庫(Ⅱ)		*3 低レベル廃棄物 保管庫(Ⅲ)		施設合計				
	可燃性	不燃性	可燃性	不燃性	可燃性	不燃性	可燃性	不燃性	可燃性	不燃性	ホットラボ棟	低レベル廃棄物保管庫	ウラン燃料研究棟	低レベル廃棄物保管庫(Ⅱ)	低レベル廃棄物保管庫(Ⅲ)
放射性廃棄物の種類 量															
前年度末保管量															
当該年度の発生量															
当該年度の減少量															
施設内減量*4															
施設外減量															
当該年度末保管量															
保管設備容量															
備考															

*1：政令41条該当施設

*2：政令41条非該当施設

*3：政令41条該当施設で発生した廃棄物を保管する政令41条非該当施設

*4：圧縮減容による減量

2 放射線業務従事者の線量分布（注5）

(1) 放射線業務従事者の1年間の線量分布

線量 放射線 業務従事者	線量分布（人）				
	0.1mSv 以下	0.1mSvを超 え1mSv以下	1mSvを超え 2mSv以下	2mSvを超え 5mSv以下	5mSvを超え 10mSv以下
職員					
その他					
合計					

線量 放射線 業務従事者	線量分布（人）				
	10mSvを超え 15mSv以下	15mSvを超え 20mSv以下	20mSvを超え 25mSv以下	25mSvを超え 30mSv以下	30mSvを超え 35mSv以下
職員					
その他					
合計					

線量 放射線 業務従事者	線量分布（人）				
	35mSvを超え 40mSv以下	40mSvを超え 45mSv以下	45mSvを超え 50mSv以下	50mSvを超 えるもの	合計
職員					
その他					
合計					

線量 放射線 業務従事者	総線量* (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
職員			
その他			
合計			

(2) 女子(妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を使用者に書面で申し出た者を除く。)

の放射線業務従事者の3月間の線量分布

放射線 業務従事者		線量	線量分布(人)			
			0.1mSv 以下	0.1mSvを超え 1mSv以下	1mSvを超え 2mSv以下	2mSvを超え 5mSv以下
前半の3月間 (4月~6月)	職員		2	0	0	0
	その他		2	0	0	0
	合計		4	0	0	0
後半の3月間 (7月~9月)	職員		2	0	0	0
	その他		3	0	0	0
	合計		5	0	0	0

放射線 業務従事者		線量	線量分布(人)		総線量 (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
			5mSv を超えるもの	合計			
前半の3月間 (4月~6月)	職員		0	2	0.0	0.0	0.0
	その他		0	2	0.0	0.0	0.0
	合計		0	4	0.0	0.0	
後半の3月間 (7月~9月)	職員		0	2	0.0	0.0	0.0
	その他		0	3	0.0	0.0	0.0
	合計		0	5	0.0	0.0	